第1章　亀山地区社会福祉協議会の歩み

Ⅰ　亀山地区社協の概要

Ⅱ　歩み ― 50 年

Ⅲ　広報誌に見る 50 年

第１章　亀山地区社協の歩み

Ⅰ．概要

１．亀山地区社会福祉協議会

社会福祉協議会とは「地域の各種団体が話し合い、協力し合って総合的な福祉を推進するために、社会福祉事業法に基づいて設置された民間団体」と定義されている。

亀山地区社会福祉協議会（亀山地区社協）は昭和５２年９月１７日（１９７７年）に設立し、平成１９年（２００７年）に創立３０年を迎え、令和８年９月（２０２６年）創始５０年の記念福祉大会を開くことができた。

設立の理念は「地域住民の親睦･福祉の増進を図り、住みよく明るい健全な地域社会をつくる」こと。３０周年のテーマは「安心して　安全に暮らせる　思いやりのあるまち　かめやま」であり、５０年は「住んで安全・暮らして安心・絆のあるまちかめやま」を主題に開催した。

運営は、自治会・町内会、各種団体の代表をもって亀山地区社協の理事、代議員を選出し、毎年の代議員総会で、活動方針・年度予算・事業計画などを決め、住民の福祉を中心に事業活動を進めている。

活動資金は､当初は有志の寄付によりスタートした。安佐北区社会福祉協議会（安佐北区社協）の補助金により安定していった。後に、自治会・町内会の協力により全住民からの会費拠出が実現した。

会費拠出の推移は、１世帯　昭和６２年・・・　５０円
平成　６年・・・　５０円～　８０円
平成１０年・・・　８０円～１００円
平成１９年・・・１００円～１５０円

時代とともに引き上げられた。

事業・行事は事業計画のもと、着々と進められ、平成から令和の時代に入った。

令和に入り、世界的に「新型コロナウイルス」の感染拡大が見られ、亀山地区社協も行事を中止することを止むなくとした。令和６年５月、第４８回代議員総会を４年ぶりに開催。事業・行事も感染予防をしつつ徐々に開催した。

亀山地区社協は物心ともに地域住民に支えられ順調な歩みを続けてきていて、亀山地区社協の会長（現 大畠会長）が安佐北区社協会長に選出されるなどして、安佐北区の地区社協の中でも注目されている。

２. 生い立ち・背景

亀山地区社協の生い立ち・背景の歴史をたどると、現在の亀山地区の在る旧安佐郡亀山村は昭和３０年（１９５５年）に可部町との合併で消え、その後、可部町は昭和４７年４月（１９７２年）に広島市可部町に変わり、広島市との合併に大きく揺れながら発展していった。昭和５５年（１９８０年）には広島市安佐北区可部町となり、広島市北部の中心地区となった。昭和５０年代の亀山地区は緑の田園地帯が急速に都市化し、人口も増加の一途で「まちづくり」が大きな課題となっていた。そして、昭和６１年２月（１９８６年）には「亀山」の名称が３１年ぶりに公式に復活した。これは広島市の住居表示実施によるもので、亀山１丁目～亀山９丁目が正式町名となり、その後、亀山西１丁目・２丁目の町名が生まれた。

亀山地区は広島市可部町社協のもとにあったが、昭和５２年（１９７７年）に亀山学区社会福祉協議会を設立。発足３年後には安佐北区社協の指導下に入るなどの変革を経ている。平成５年（１９９３年）に亀山地区社協と改称した。

昭和が終わり平成に入ると、少子高齢化と併せて「社会福祉の向上」が国家的なテーマとなり、地域福祉がクローズアップされるなど、地区社協の役割も一段と広がりを見せた。

亀山地区も人口が急激に増加し、この発展によって地域は都市型と農村型の住民が混在する複雑な地域となり、“高齢者対策”“青少年対策”や“まちづくり”が緊急の課題となった。亀山地区社協はこの複雑な状況の中、学区の自治会・町内会や諸団体の協力を得て、いろいろな困難を克服して今に至っている。

平成から令和に入ると、「新型コロナ」の感染拡大により行事などままならない状況になったが、４年の経過が経って感染防止対策をとりながら、元の形となって福祉活動などの行事を行っている。

３．現状

令和８年の亀山地区社協の組織は、学区内の１５自治会・町内会及び亀山学区民児協、亀山学区体協、亀山学区青少協、亀山女性会など１５の各種団体・施設で組織している。

本部役員、各自治会・町内会、各種団体の会長・代表など３３名が理事、その副会長副代表ら７２名を代議員として合計１０５名で会の運営に当たっている。

運営は、役員会、理事会で実施計画を検討し、年１回の代議員総会で年度予算や事業計画などを決定している。

業務運営のため、事務局長、会計を置き調査、事業、福祉、広報、ボランティアの５部を設けている。

地域福祉活動充実のため、「社協かめやま本部」は火曜日と木曜日の午前中、「社協かめやま分室」は月曜日から金曜日の午前１０時から午後３時まで、２か所に事務所を開設している。スタッフを常駐して、「高齢者のみまもり活動」「福祉なんでも相談室」「子育て育児支援」などの事業を推進している。

また、広島市地域コミュニティ活性化ビジョンで学区内３１団体が加盟して、「かめやまエルモ」を立ち上げ、「となり組」活動の推進をし、全ての住民に情報が伝達できる方法を構築し絆を深めていくよう努める。

令和８年度の実施計画、活動方針は従来からの取り組みを継承し、以下「福祉のまちづくり」４つの要素を重点的に取り組んでいる。

①　安心してくらせるまちづくり

②　共に暮らせるまちづくり

③　支えあえるまちづくり

④　潤いのあるまちづくり

事業の実施は財政的に厳しい状況にあり、自己財源の確保について会員の皆様のご寄付（香典・お見舞い・お祝いなどのお返し）をお願いし、地区住民の物心両面の支援が社協活動の原動力になっている。

Ⅱ. 歩み―５０年

亀山地区社協は、昭和５２年設立当初、組織づくり、運営資金の確保に追われた。事業活動が始まったのは数年を経てからで、昭和５０年代は基礎固めの時期といえる。

昭和６０年代には懸案が実り、亀山学区全自治会・町内会（約2,７００戸）からの会費拠出が実現、組織を拡大強化するとともに財政面を固め、事業活動に力を入れ、福祉活動を活発に展開した。

平成時代に入ってからは、地域住民の協力により、組織構成を拡大し、運営関係者を増やし、順調に発展を続け創立２０周年を迎えた。折りしも広島市社協の活動も本格化、安佐北区総合福祉センターの完成を期に安佐北区社協も体制を整え、地区社協の育成に乗り出した。

亀山地区社協はこれらの動きに連動し、本格的な展開を続けた。運営面でも地元会費の増額、福祉事業への寄付増加、また市社協などの事業補助制度の定着などに支えられて、予算規模も拡大。地域福祉事業も計画的に推進し、順調な歩みのうちに創立３０周年を迎えた。

その後、平成２１年に若藤会長から現在の大畠正彦会長に代わり、現在に至っている。

◄歴代の会長►

【初代】岩田 定人氏 （勝木）　　昭和５２年～５９年

【２代】古殿　 初氏 （四日市）　　昭和６０年～６４年

【３代】若藤 貞夫氏 （中大毛寺）　平成元年～２０年

【４代】大畠 正彦氏 （四日市）　　平成２１年～現在に至る

地域における高齢者、介護を必要とされている方々、幼児・児童・その他住民への支援などを重要活動として取り組み、お困りごと相談の窓口として、社協事務所「社協かめやま」を亀山７丁目に開設した。その後、令和７年５月より亀山３丁目１９-２６-３へ事務所移転、現在に至る。

令和２年には「新型コロナウイルス」感染拡大のため、行事等々、令和５年まで４年間全て中止となった。この間も、白寿・米寿祝と高齢者・在宅要介護者、その介護者への弁当配食の福祉事業は続けて行われた。

令和２年からは、亀山地域包括支援センターと合同勉強会を開始し、令和７年度では第９回となった。福祉に関すること等々、研修を行っている。

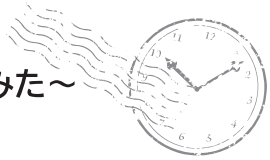
令和３年、お困りごと相談を充実するために、「社協かめやま分室」を亀山３丁目１４－２０に開設。

令和６年、広島市は市全体のまちづくりを推進する「ひろしまＬＭＯ(エルモ)」を導入。それに伴い亀山地区社協も「かめやまエルモ」に加入した。

令和７年度広報紙（かめやま）第１３１号より、字を大きくしカラー印刷にし、読みやすくした。

亀山地区社協創始５０年記念事業を開催することを決定し、準備に入った。

福祉事業への寄付が年々激減し、財政面での行き詰まりが危惧される。



～亀山地区社協５０年の足跡を年代順に顧みた～

1977～1988年　発足・昭和５２年から昭和６３年

昭和５２年	設立総会　９月１７日初代会長　岩田定人氏就任。会則・活動方針などを承認。
５３年	広報「かめやま」を発行。
５５年	政令市・広島市安佐北区となり、安佐北区社協が設立。
５７年	“あいさつ声かけ運動”を提唱し実行。
５８年	昭和６０年度の予定で「自治会・町内会から全住民の会費納入」を実施することとした。
６０年	岩田会長が辞任。２代目に古殿会長が就任。
６１年	献血推進協力会を結成した。
６２年	総会において「会費」を「１戸当たり５０円とする。」に決定。 福祉の催しとして、「ひとりくらし老人の集い」を行った。
６３年	福祉のまちづくりの一つとして、「緊急連絡カード」を作成した。

1989～1997年　平成元年から平成９年

平成元年	古殿会長が辞任。若藤会長が３代目会長に就任。 住民福祉懇談会「福祉のまちづくり」を開催。 「ひとりくらし老人とのふれあい会食」を初めて行った。
２年	敬老の日に「お祝いはがき通信」を企画。 第１１回安佐北区社会福祉大会で、地域福祉功労団体として亀山地区社協が表彰された。

平成３年　広島市社会福祉大会にて優良社会福祉協議会として表彰された。
４年　老人福祉「ひとりくらし老人の花見会」を新しく行った。
５年　名称を亀山学区社協から亀山地区社協に変更した。
老人福祉「ひとりくらし老人の料理講習会」を新しく行った。
６年　自主財源を増やすため、１戸年額５０円を８０円に改定した。
７年　広島県福祉大会で亀山地区社協が優良社会福祉協議会として表彰された。
８年　創立２０周年記念実行委員会（若藤委員長）で記念行事などを検討。
平成９年９月に記念福祉大会を開くことを決めた。
９年　創立２０周年事業として、９月７日に２０周年記念福祉大会を開いたほか、
『記念誌かめやま特集号』を発行した。

1998 ～ 2007 年　平成１０年から平成１９年

平成１０年　各町内会からの会費を１戸年額８０円から１００円に改定した。
１１年　いきいきサロン「くつろぎ会」発足。
１２年　安佐北区総合福祉センターが完成した。福祉委員制度の新設に伴い福祉部が発足。
１３年　「ひとりくらし男性のための料理教室」を新設。
１４年　ボランティアバンク「助け合い」を結成、発足した。
１６年　ふれあい子育てサロン「プーさん」発足。
１８年　子育てサロン「どーなっつ」が発足。
創立３０周年記念大会を平成１９年９月９日に開き、記念式典、祝賀会のほか
記念誌を発行することを決定。
広島市地域包括支援センターが亀山４丁目に開設された。
１９年　各町内会からの会費を年額１００円から１５０円に改定した。
創立３０周年を迎え、９月９日に３０周年記念福祉大会を開催。
記念式典、祝賀会を行ったほか、記念誌『かめやま特別号』を作成し配布。
大会のテーマ「安心して 安全に暮らせる 思いやりのあるまち かめやま」

2008 ～ 2017 年　平成２０年から平成２９年　（３１周年目から創始５０年まで）

平成２０年　広島市社協が「地域福祉推進第５次５か年計画」を策定。これに伴い亀山地区
社会福祉協議会も「あなたとつくる　みんなでつくる　ささえあいのまち」を

平成２０年（続き）　スローガンに、一人ひとりが主役になった、地域住民誰もが、安心して、安全に暮らせる思いやりのある地域づくりの推進に努める。

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　佐々木 理博・見生 仁士・大下 義之・川崎 勲・平岡 利之・増川 美奈子の６氏

２１年　「第５次５か年計画」に基づき、地域でのつながりを深める活動の「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、地域を挙げて児童生徒の登下校に備え、安全マップ作成、学校安全ボランティア、シニアウォーキングパトロール隊を結成。若藤会長　辞任。大畠会長が４代目会長に就任。

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　天野 和人・小西 義孝・前田 露子・隅田 政義・谷本 比文・堂前 純子・土井 正見・神田 清文の８氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　川崎 勲・佐々木 理博・大下 義之・平岡 利之・増川 美奈子の５氏

２２年　地域におけるひとりくらし、ふたりくらし高齢者、介護を必要とされている方々への支援、幼児・児童・その他住民への支援などを重要活動として取り組む。見守り活動とボランティア活動の強化推進を図るため、ボランティアバンクを解消してボランティア部を設立した。

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　大畠 正彦・小田 正彦・竹内 秀夫・中坊 睦芽・糀屋 節子の５氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　前田 露子・天野 和人・谷本 比文・神田 清文・小西 義孝・堂前 純子の６氏

平成２３年　緊急医療情報キッド　運用開始。

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　奥野 昭代・川本 谷三・斎 美代子の３氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　大畠 正彦・中坊 睦芽・小田 正彦・竹内 秀夫の４氏

２４年　お困りごと相談の窓口として、亀山７丁目（上大毛寺）に亀山地区社協事務所「社協かめやま」を開設。毎週火・木曜日　午前１０時～１２時

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　山口 仁武・柏原 てるみの２氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　奥野 昭代・川本 谷三・斎 美代子の３氏

２５年　ふたりくらしの集いの上組下組を解消して全域で開催することとした。

◦広島市長表彰

受賞者：　大畠 正彦氏

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　大上 尚・平賀 武雄の２氏

２６年　◦広島市社協会長表彰

受賞者：　山口 仁武・柏原 てるみの２氏

広報紙１００号記念発行。

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　濱田 昭法・野瀬 卓・早川 雛子の３氏

２７年　ひとりくらしの料理教室と試食会を上組下組で行っていたが、それぞれの会場に調理器具などの持ち込みが困難なことと、火の用心のため、中止とした。

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　大上 尚氏

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　長山 文子・濱田 和江・皆田 久人・中出 道夫の４氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　濱田 昭法・野瀬 卓・早川 雛子の３氏

２８年　「ふたりくらしの集い」（全域）とした行事を「ひとりふたりくらしの集い」（全域）として、亀山公民館で開催することとした。

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　長山 昭夫・中坊 寛の２氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　長山 文子・濱田 和江・皆田 久人・中出 道夫の４氏

２９年
◦安佐北区社協会長表彰
受賞者：　穐村　和恵・向井　幸三・佐々木　和子・清見　邦昭の４氏
◦広島市社協会長表彰
受賞者：　長山　昭夫・中坊　寛の２氏

2018 ～ 2026 年　平成３０年から令和８年

平成３０年
住民主体型生活支援訪問サービス導入による説明会。
◦安佐北区社協会長表彰
受賞者：　中島　吉幸・鹿田　義弘・大田　哲生・太田　密の４氏
◦広島市社協会長表彰
受賞者：　穐村　和恵・向井　幸三・佐々木　和子・清見　邦昭の４氏

令和元年
（平成３１年４月まで）
住民主体型生活支援訪問サービス情報交換会。
◦安佐北区社協会長表彰
受賞者：　吉村　昭彦・藤井　房光・花本　姫美子の３氏
◦広島市社協会長表彰
受賞者：　中島　吉幸・鹿田　義弘・大田　哲生・太田　密の４氏

２年
「新型コロナウイルス」感染予防対策のため、総会を書面審査とする。
在宅要介護者、及び介護者への配食と激励訪問と敬老事業以外の行事は中止。
「住民主体型生活支援訪問サービス」　事業との連携を強化する。
◦安佐北区社協会長表彰
受賞者：　平尾　和宏・宮本　敏枝・二見　豪蔵・山口　定己の４氏
◦広島市社協会長表彰
受賞者：　中島　吉幸・鹿田　義弘・大田　哲生・太田　密の４氏

３年
政府３回目「緊急事態宣言」を広島を含む９都道府県に発令のため理事会、代議員総会は書面審査で承認。従来の活動は前年と同じ。
活動方針は従来通り“住んで安全　暮らして安心　絆のまち　かめやま”をスローガンにし展開した。
亀山３丁目「社協かめやま分室」を開設。福祉活動・相談の充実を図る。

３年（続き）

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　迫田 和英氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　平尾 和宏・宮本 敏枝・二見 豪蔵・山口 定己の４氏

４年

新型コロナウイルス感染予防対策のため、行事は前年と同じ。

理事会、代議員総会は書面審査　承認。

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　原田 尚武・中田 佐和子・千蔵 早苗の３氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　迫田 和英氏

５年

新型コロナウイルス感染予防対策のため、総会は書面審査で承認。

５月まで各行事を中止していたが、６月以降感染予防が緩和されたため、可能な限り行事を実施した。今年度よりひとりくらし７０歳以上、ふたりくらし夫婦ともに７５歳以上に改め、昨年までの「ひとりふたりくらしの集い」を「ふたりくらしの集い」とした。

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　下向 進・高野 きれい・淺枝 桂子の３氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　中田 佐和子氏

６年

総会（第４８回）５月２６日　４年ぶりの理事会、代議員総会を開催。

広島市は市全体のまちづくりを推進する。【ひろしまＬＭＯ（エルモ）】の導入。

学区内２９団体が加入し「かめやまエルモ」を設立。

令和６年１２月３１日をもって、亀山７丁目の（社協かめやま）事務所を都合により閉鎖となった。

◦広島県社会福祉協議会会長表彰

受賞者：　大畠 正彦・小田 正彦・奥野 昭代・中坊 寛・迫田 和英・
堂前 純子の６氏

◦広島県共同募金会会長表彰

受賞者：　迫田 和英氏

令和６年（続き）

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　大田 隆子・古垰 千図子・小坂 昭義・松本 雅治・
大石 貞男・竹内 隆子・萩原 フミ・清水 ヤス子・
濱田 富法・田川 佐智子の１０氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　下向 進・淺枝 桂子・迫田 和英の３氏

令和７年

総会（第４９回）５月２５日

令和７年５月７日より「社協かめやま事務所」を亀山３丁目１９-２６-３に移転。

令和８年度、亀山地区社協が創始５０年を迎えるため、今年は５０年に向け実行委員会（山口定己委員長）で準備の年とし、企画・準備を始めた。

広報紙第１３１号より字を大きく、カラー印刷にし、読みやすくした。

◦安佐北区社協会長表彰

受賞者：　石橋 孝男・藤田 孝雄・新原 深雪・末広 美恵の４氏

◦広島市社協会長表彰

受賞者：　大田 隆子・古垰 千図子・小坂 昭義・松本 雅治・
大石 貞男・竹内 隆子・萩原 フミ・清水 ヤス子・
濱田 富法・田川 佐智子の１０氏

◦令和７年度全国社会福祉大会で、大畠会長が１１月１２日全国表彰受賞。

８年

創始５０年記念事業として、記念誌を発行すると共に、

創始５０年記念福祉大会を９月２７日（日）に開催。

「住んで安全　暮らして安心　絆のまち　かめやま」を大会テーマとして、

特別講演実施。

演題「まちとひと　人と人をつなぐ　ひろしまジン大学の活動」

講師　広島市立大学　地域共創センター　特任准教授　平尾 順平様

◦地域功労者表彰

受賞者：　山崎 正博（元県議会議員）・山本 幸（元自治連会長）
山崎 千代子（元亀山女性会会長）・大畠 正彦（前自治連会長）

Ⅲ. 広報紙に見る５０年

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
1号	昭和53年9月1日 (1978年)	○昭和53年度（第2回）代議員総会8月6日 ◦岩田会長あいさつ「発刊にあたって」 ◦会則全文	4	
2号	12月1日	◦社会福祉協議会の解説Ⅰ	1	
3号	昭和54年9月1日 (1979年)	○昭和54年度（第3回）総会5月26日 ◦会長再任あいさつ	3	
4号	昭和55年2月1日 (1980年)	◦社協の解説Ⅱ　◦生活改善専門委発足		6
5号	9月1日	○昭和55年度（第4回）総会7月5日 ◦会長あいさつ	1	1
6号	昭和57年1月15日 (1982年)	○昭和56年度（第5回）総会7月5日 ◦良い子を産み育てる母親運動	4	4
7号	3月15日	◦幼児教育・児童教育について	2	3
8号	11月5日	○昭和57年度（第6回）総会7月3日 ◦生活改善・不良図書追放		
9号	昭和58年7月20日 (1983年)	◦教育講座会主催	4	7
10号	昭和59年2月10日 (1984年)	○昭和58年度（第7回）総会7月30日 ◦寝たきり高齢者見舞い10名	3	3
11号	12月20日	○昭和59年度（第8回）総会7月21日	4	5
12号	昭和60年12月1日 (1985年)	○昭和60年度（第9回）総会6月22日 ◦古殿会長就任あいさつ　◦岩田会長辞任あいさつ ◦寝たきり高齢者見舞い14名 ◦心身障がい者見舞い12名	9	11
13号	昭和61年10月31日 (1986年)	○昭和61年度（第10回）総会4月19日	10	7
14号	昭和62年3月25日 (1987年)	◦亀山地区社協の組織･事業解説･ 民生委員児童委員紹介9氏	2	
15号	11月5日	○昭和62年度（第11回）総会7月5日 ◦ひとりくらし高齢者の集い（湯来ロッジ）	11	10
16号	昭和63年3月20日 (1988年)	◦ひとりくらし高齢者アンケート調査報告24名参加	3	
17号	9月25日	○昭和63年度（第12回）総会6月26日		

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
18号	平成元年1月20日 (1989年)	◦ひとりくらし高齢者の集い	10	10
19号	4月25日	◦亀山地区社協の役割解説・高齢者福祉について	7	
20号	8月15日	○平成元年度（第13回）総会6月22日 ◦若藤会長就任あいさつ　◦古殿会長辞任あいさつ	6	
21号	12月20日	◦ふれあい会食 ◦ひとりくらし高齢者の集い（鴨川山荘）	4	6
22号	平成2年3月10日 (1990年)	◦福祉推進懇談会開催	13	
23号	9月1日	○平成2年度（第14回）総会6月10日 ◦会長あいさつ	8	
24号	11月30日	◦ひとりくらし老人の集い地区会	8	6
25号	平成3年2月20日 (1991年)	◦ひとりくらし老人の集い ◦寝たきり老人・介護者への配食	6	
26号	3月30日	◦住民福祉懇談会　◦二人暮らし老人の集い	4	
27号	8月10日	○平成3年度（第15回）総会6月16日 ◦会長あいさつ	11	
28号	12月10日	◦ひとりくらし高齢者の集い	12	7
29号	平成4年2月10日 (1992年)	◦ひとりくらし高齢者の集い ◦ふたりくらし高齢者の集い	4	
30号	6月1日	◦住民福祉懇談会 ◦ボランティアグループと情報交換会	6	
31号	8月1日	○平成4年度（第16回）総会6月21日 ◦会長あいさつ	1	
32号	11月15日	◦敬老会事業	8	12 (白寿1名 米寿11名)
33号	平成5年3月15日 (1993年)	◦ひとりくらし高齢者の集い ◦ふたりくらし高齢者の集い	8	
34号	8月1日	○平成5年度（第17回）総会6月13日 ◦会長あいさつ	10	
35号	12月10日	◦ひとりくらし高齢者の集い ◦ふたりくらし高齢者の集い	2	
36号	平成6年3月30日 (1994年)	◦みまもり活動推進会議 ◦寝たきり高齢者・介護者への配食訪問 ◦ひとりくらし高齢者の料理教室・試食会	11	
37号	7月20日	○平成6年度（第18回）総会5月22日 ◦会長あいさつ	5	
38号	12月20日	◦在宅介護者の集い ◦ふたりくらしの集い　　◦ひとりくらしの集い	5	11

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
39号	平成7年3月25日 （1995年）	◦みまもり活動推進会議 ◦寝たきり高齢者・介護者への配食訪問	6	
40号	7月20日	○平成7年度（第19回）総会5月28日 ◦会長あいさつ	11	
41号	12月25日	◦ひとりくらしの集い　◦ふたりくらしの集い ◦介護者の集い	8	15 （米寿）
42号	平成8年3月25日 （1996年）	◦県社会福祉大会で亀山地区社協が優良表彰 ◦みまもり活動推進会議 ◦寝たきり高齢者・介護者への配食訪問	8	
43号	7月31日	○平成8年度（第20回）総会6月23日 ◦会長あいさつ	8	
44号	12月30日	◦ふたりくらしの集い　◦ひとりくらしの集い	10	11 （米寿11名）
45号	平成9年3月25日 （1997年）	◦みまもり活動推進会議　◦介護者の集い	5	
46号	7月25日	○平成9年度（第21回）総会6月28日	7	
47号	10月10日	○20周年特集号 ◦亀山社協創立20周年記念福祉大会 来賓18名　表彰者7名 記念講演「これからの福祉のまちづくり」 講師　光田 鈔様（全民協会長）		
48号	12月20日	◦ふたりくらしの集い ◦在宅介護者の集い	7	15 （白寿1名 米寿14名）
49号	平成10年3月25日 （1998年）	◦みまもり活動推進会議　◦在宅介護者の集い	4	
50号	7月25日	○平成10年度（第22回）総会6月28日 ◦会長あいさつ	9	
51号	12月1日	◦福祉委員とは	12	21 （白寿1名 米寿20名）
52号	平成11年3月25日 （1999年）	◦みまもり活動推進会議　◦亀山福祉バザー ◦亀山地区社協福祉部の新設　◦介護者の集い	9	
53号	8月1日	○平成11年度（第23回）総会6月27日 ◦会長あいさつ	14	
54号	12月1日	◦いきいきサロン開設	9	21 （白寿2名 米寿19名）

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
55号	平成12年3月20日 （2000年）	◦「介護保険を考える・私たちの対策は」 ◦みまもり活動推進会議 ◦第20回安佐北区社会福祉大会	10	
56号	6月30日	○平成12年度（第24回）総会5月28日 ◦会長あいさつ　◦心配ごと相談	6	
57号	12月1日	◦ひとりくらしの集い ◦いきいきサロン	5	19 （白寿1名 米寿18名）
58号	平成13年3月30日 （2001年）	◦ふたりくらしの集い　◦みまもり活動推進会議 ◦亀山福祉バザー　◦いきいきサロン	8	
59号	6月30日	○平成13年度（第25回）総会5月20日 ◦会長あいさつ	5	
60号	12月10日	◦男性のための料理教室開始 ◦ひとりくらしの集い（鴨川山荘）	6	13 （白寿1名 米寿12名）
61号	平成14年3月30日 （2002年）	◦みまもり活動推進会議　◦ふたりくらしの集い ◦福祉事業とボランティア	8	
62号	7月10日	○平成14年度（第26回）総会5月26日 ◦会長あいさつ	7	
63号	11月10日	◦敬老の日に寄せて ◦第12回青少年意見発表会	7	21 （米寿）
64号	平成15年3月31日 （2003年）	◦ボランティアバンク「助け合い」発足 ◦14年度広島市社会福祉大会（50周年記念）	8	
65号	7月1日	○平成15年度（第27回）総会5月25日 ◦会長あいさつ「住民参加・協働型地域福祉」	6	
66号	11月1日	◦高齢者数と老齢化指数 ◦家庭介護の講習会　◦寝たきりゼロへの10か条 ◦高齢者交通安全教室	8	28 （白寿3名 米寿25名）
67号	平成16年3月10日 （2004年）	◦亀山の子育て支援を考えるⅠ ◦亀山でホタル育てに成功	8	
68号	7月1日	○平成16年度（第28回）総会6月6日 ◦会長あいさつ　◦子育て支援を考えるⅡ ◦青少年意見発表会	6	
69号	11月1日	◦亀山地区各地で敬老会 ◦子育て支援を考える Ⅲ ◦子育てサロンプーさん誕生 ◦いきいきサロン5周年	9	17 （白寿1名 米寿16名）

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
70号	平成17年3月1日 （2005年）	◦みまもり活動推進会議　◦ふたりくらしの集い ◦子育て支援を考えるⅣ	11	
71号	7月1日	○平成17年度（第29回）総会5月15日 ◦会長あいさつ　◦かめやま“声掛け運動” ◦子育て支援連絡会	4	
72号	11月1日	亀山地区各地で敬老会 ◦かめやま“声掛け運動”　◦ボランティア研修会 ◦緊急時の支援体制は“助け合い”を考える	4	26 （白寿1名 米寿25名）
73号	平成18年3月31日 （2006年）	◦“亀山の子”みんなで守ろう育てよう！ ◦みまもり活動推進会議 ◦かめやま“声掛け運動”	14	
74号	7月1日	○平成18年度（第30回）総会5月14日 ◦会長あいさつ　◦大毛寺夏祭り ◦かめやま“声掛け運動”	10	
75号	10月31日	亀山地区各地で敬老会 ◦かめやま“声掛け運動” ◦亀山地区に包括支援センター開所	7	26 （白寿3名 米寿23名）
76号	平成19年3月31日 （2007年）	◦亀山の介護支援と見守り活動は ◦みまもり活動推進会議 ◦かめやま“声掛け運動” ◦18年度広島市社会福祉大会 ◦第27回安佐北区社会福祉大会	10	
77号	7月1日	○平成19年度（第31回）総会5月6日 ◦会長あいさつ「創立30周年を迎えるにあたって」 ◦かめやま“声掛け運動” ◦創立30周年記念福祉大会	7	
78号	9月30日	○創立30周年記念福祉大会 9月9日（日）亀山公民館 ◦スローガン “安心して　安全に暮らせる 思いやりのあるまちかめやま” ◦会長お礼の言葉　◦功労者表彰 ◦記念講演　◦祝宴（民踊・神楽）◦来賓名簿		
79号	10月30日	◦敬老会 ◦かめやま”声掛け運動”　◦ボランティア研修会 ◦献血実施　採血者　103名	9	15 （白寿3名 米寿12名）

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
80号	平成20年3月31日 （2008年）	◦みまもり活動推進会議 地域ぐるみのボランティア活動を！ ◦ふたりくらしの集い　◦かめやま“声掛け運動” ◦かめやま福祉バザー	12	
81号	7月1日	○平成20年度（第32回）総会5月25日（日） ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま“声掛け運動” ◦ボランティア活動強化　◦亀山母親クラブ再開	9	
82号	11月1日	◦敬老会 ◦ボランティア研修会ー物づくりの輪ー ◦かめやま“声掛け運動” ◦献血実施　採血者　82名 ◦ボランティア調査特集　ー調査報告要旨4ページー		28 （白寿2名 米寿26名）
83号	平成21年3月31日 （2009年）	◦20年度みまもり活動推進会議 「地域のボランティア活動！」 ◦亀山女性会創立60周年　ー記念誌を作成ー ◦かめやま“声掛け運動” ◦ふたりくらしの集い（上組・下組）	10	
84号	6月30日	○平成21年度（第33回）総会5月24日（日） ◦会長交代に伴い　大畠会長あいさつ 「福祉のまちづくりを！」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦前若藤会長（顧問） 「社協20年の思い“支えあいの輪”をひろげよう」 ◦役員紹介　◦かめやま“声掛け運動”	10	
85号	10月31日	◦敬老会 ◦今日はみなさん 亀山地区社協事務局長　玄道 憲夫氏 事務局次長　太田 密氏 ◦いきいきサロン10周年 ◦かめやま“声掛け運動”　◦献血実施　採血者90名	8	20 （白寿5名 米寿15名）
86号	平成22年3月31日 （2010年）	◦みまもり活動推進会議　ー社会変動に対応をー 講師　いでしたクリニック 院長　井手下 久登様 みまもり活動への思い　大畠正彦会長 ◦かめやま広場 （地域安全パトロール 可部グリーンライフ自治会会長） ◦今日はみなさん　亀山小学校PTA会長　吉見 保様 ◦かめやま“声掛け運動”　◦亀山福祉バザー	11	

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
87号	6月30日 （2010年続き）	○平成22年度（第34回）総会5月23日（日） ◦新たにボランティア部の結成で5部体制になる ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦今日はみなさん 「すすめましょう～福祉のまちづくり」 安佐北区社協 事務局長　野平 浩之様 ◦かめやま“声掛け運動”	7	
88号	10月30日	◦敬老会 ◦かめやま“声掛け運動” ◦献血実施　採血者　86名	7	53 （白寿3名 米寿50名）
特集号	平成23年1月31日 （2011年）	◦「緊急医療情報キット」の導入について ◦亀山地区社協見守り（緊急時）の通報ネットワーク ◦亀山地区社協ボランティアバンクの活動について ◦平成23年度　再任・新任民生児童委員紹介 ◦亀山地区社協の行っている事業		
89号	3月31日	◦みまもり活動推進会議 －出来ることから小さな福祉を亀山の地から－ ◦山口事務局長「ボランティアへの思い」 ◦ふたりくらしの集い　－健康で仲むつまじく－ ◦ひとりくらしの集いバス旅行「かんぽの宿竹原」 ◦男性のための料理教室	11	
90号	7月1日	○平成23年度（第35回）総会5月15日 ◦大畠会長あいさつ 「身近な福祉活動をみんなの手で」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場 「守れわがまち」 安佐北消防団亀山副分団長　大田 哲文様 ◦今日はみなさん 「愛される支援センターに」 亀山地域包括支援センター長　大屋 美穂子様 ◦役員紹介　　◦かめやま“声掛け運動” ◦ご寄付のお願い	4	
91号	10月31日	◦敬老会 ◦ボランティア部 ◦亀山地区社協事務所開設予定（平成23年12月） ◦かめやま“声掛け運動” ◦献血実施　採血者　95名	10	34 （白寿2名 米寿32名）

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
92号	平成24年3月31日 (2012年)	◦みまもり活動推進会議　大畠会長あいさつ 「出来ることから小さな福祉を亀山の地から」 講演「理想の高齢社会 －今の介護社会の現場ではー」 講師　いでしたクリニック 院長　井手下 久登様 ◦ボランティア部の活動 「現状と今後の対応について」 ◦亀山地区社協事務所「社協かめやま」開設 (平成23年12月) ◦ふたりくらしの集い「唄と笑いと健康と」 ◦ひとりくらしの集い 「一日小旅行ーかんぽの宿光」 ◦高齢者への訪問激励 ◦金亀の里かめやま福祉バザー ◦今日はみなさん 「地域の子供は地域で育てる」 亀山学区青少協会長　清見 邦昭様 ◦男性のための料理教室　◦かめやま“声掛け運動”	11	
93号	7月2日	○平成24年度（第36回）総会　5月20日 ◦大畠会長あいさつ 「福祉のまちづくりプランの策定」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画　◦役員紹介 ◦かめやま広場（亀山小学校児童3名） ◦ひとりくらしのお花見会	3	
94号	10月31日	◦敬老会 ◦ひとりくらしの料理教室と試食会 ◦献血実施　採血者　104名	8	41 （白寿4名 米寿37名）
95号	平成25年3月31日 (2013年)	◦みまもり活動推進会議 大畠会長あいさつ 「見えてきた　福祉のまちづくり」 講師　亀山地域包括支援センター長　井田 浩美様 「地域包括支援センターの役割について」 講師　緑ヶ丘静養園元施設長　新野 義弘様 「現在の介護社会の現場では」 ◦ふたりらしの集い「笑って元気！楽しいヨガ いつでもどこでも誰にでも」 ◦ひとりくらしの集い　日帰り小旅行 かんぽの宿「白亜の宿光」 ◦配食と激励訪問　◦ボランティアバンクの活動状況 ◦金亀の里　かめやま福祉バザー ◦男性のための料理教室	4	

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
96号	平成25年7月15日 （2013年続き）	○平成25年度（第37回）総会　5月26日 ◦大畠会長あいさつ 「福祉のまちづくりプラン策定仕上げの年に」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場　（亀山小学校児童　作文発表　2名）	2	
97号	10月31日	◦敬老祝賀会(四日市町内会) ◦献血実施　採血者　71名 ◦事業報告	7	42 （白寿2名 米寿40名）
98号	平成26年3月31日 （2014年）	◦福祉のまちづくりプラン ◦事業報告　◦功労者表彰	14	
99号	7月14日	○平成26年度（第38回）総会　5月25日 ◦大畠会長あいさつ 「子どもから高齢者まで世代を超えたつながりを」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場（亀山小学校児童作文発表　4名）	8	
100号	10月31日	◦敬老祝賀会(大毛寺連合町内会) ◦食中毒予防講習会　◦献血実施　採血者　84名		42 （白寿2名 米寿40名）
101号	平成27年3月31日 （2015年）	◦ふれあい福祉会議 「健やかに美しく老いるために」 講師　元広島逓信病院 院長　湊 武様 ◦功労者表彰	7	
102号	7月14日	○平成27年度（第39回）総会　5月24日 ◦大畠会長あいさつ「近所の力を育てよう」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場（亀山小学校児童作文発表　2名）		
103号	10月31日	◦敬老祝賀会(綾西自治会) ◦亀山古墳の紹介 ◦献血実施　採血者87名 ◦ひとりふたりくらしの集い	5	26 （白寿2名 米寿24名）
104号	平成28年3月31日 （2016年）	◦会長あいさつ「～今年度の思いから～」 ◦ふれあい福祉会議　「ガンバロー不老長寿の生き方」 講師　元広島逓信病院 院長　湊 武様	6	
105号	7月14日	○平成28年度（第40回）総会　5月22日 ◦会長あいさつ「遠い親戚より近くの他人」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場（亀山小学校児童作文発表　2名）	2	
106号	10月31日	◦敬老祝賀会（綾西自治会） ◦食中毒予防講習会　◦献血実施　採血者　82名 ◦ひとりふたりくらしの集い	6	43 （白寿2名 米寿41名）

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
107号	平成29年3月31日 (2017年)	◦会長あいさつ「地域福祉に若い人の力を」 ◦ふれあい福祉会議「幸福感の高いまちづくり ～地域でねばる～」 講師　社会福祉法人優輝福祉会 理事長　熊原 保様	8	
108号	7月1日	○平成29年度（第41回）総会　5月21日 ◦大畠会長あいさつ「地域福祉ケアシステム」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場（亀山小学校児童作文発表　2名） ◦「社協かめやま」事務所の機能を紹介	4	
109号	10月31日	◦敬老祝賀会（下行森自治会） ◦献血実施　採血者　67名	4	51 （白寿3名 米寿48名）
110号	平成30年3月31日 (2018年)	◦大畠会長あいさつ 「あなたも高齢者いきいき活動ポイントに 参加してみませんか」 ◦ふれあい福祉会議 「地域共生社会の実現に向けた地域活動」 講師　社会福祉法人優輝福祉会 理事長　熊原 保様	9	
111号	7月1日	○平成30年度（第42回）総会　5月20日 ◦大畠会長あいさつ 「住み慣れた地域で自分らしく暮らすために」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場（亀山小学校児童作文発表　3名）	9	
112号	10月31日	◦乗り合いタクシー本格運行中 ◦献血実施　採血者　61名 ◦敬老祝賀会 （四日市町内会)(勝木自治会)(大毛寺連合町内会) ◦献血実施　採血者　61名　◦食中毒予防講習会 ◦ひとりくらしの集い	3	43 （白寿1名 米寿42名）
113号	平成31年3月31日 (2019年)	◦亀山地域包括支援センター長　山本 亮介様 「年だからとあきらめていませんか？」 ◦ふれあい福祉会議「亀山地区のこれからについて」 講師　中西内科 院長　中西 重清様	9	
114号	令和元年7月10日 (2019年)	○令和元年度（第43回）総会　5月26日 大畠会長あいさつ 「福祉の令和元年少子高齢化に若い人の力を」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦亀山地域包括支援センターより ◦かめやま広場（亀山小学校児童作文発表4名）	2	

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
115号	10月31日 （2019年続き）	◦かめやま広場　亀山小学校校長　河野 博一様 ◦敬老祝賀会(綾西自治会)(下行森自治会) （大毛寺連合町内会） ◦食中毒予防講習会　◦献血実施　採血者　57名 ◦ひとりふたりくらしの集い	4	46 （白寿4名 米寿42名）
116号	令和2年3月31日 （2020年）	◦大畠会長あいさつ 「みんなのちからで地域のみまもり活動」 ◦ふれあい福祉会議「これからの亀山地域について」 講師　中西内科 院長　中西 重清様	7	
117号	8月8日	○令和2年度（第44回）総会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため　書面審査 ◦会長あいさつ 「みんなが幸せになるための 地域福祉づくりを目指して」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦「亀山地域（旧亀山村）で起こった75年前の あの出来事を風化させないためにも」 講師　濱田 昭法氏	1	
118号	10月31日	◦第一回合同勉強会 「安心安全なまちづくり」 講師　亀山地域包括支援センター　センター長 大野 恒様 ◦献血実施　採血者　73名	6	57 （白寿3名 米寿54名）
119号	令和3年3月31日 （2021年）	◦「社協かめやま分室」亀山3丁目に開設 ◦第二回合同勉強会（令和2年10月26日） 講師　安佐市民病院 看護師　矢田 和美様 医療ソーシャルワーカー　平山 朱里様 ◦第三回合同勉強会（令和2年12月7日） 「5人に1人が認知症の時代に」 講師　亀山地域包括支援センター長 看護師　竹下 美樹子様 ◦事業計画	5	
120号	7月20日	○令和3年度（第45回）総会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため　書面審査 ◦会長あいさつ 「何かの時に何でも相談できる亀山地区社協に」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場（亀山小学校児童作文発表2名）	5	

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
121号	10月31日	◦「亀山学区自主防災会について」 副会長　濱田 昭法氏 ◦「社協かめやま分室」はこんなところ ◦献血実施　採血者　103名	4	47 （白寿2名 米寿45名）
122号	令和4年3月31日 （2022年）	◦「ボランティアで地域の安心・安全を」 事務局長　山口 定己氏 ◦第四回合同勉強会（令和3年10月18日） 「認知症になっても地域で安心して暮らすために」 講師　安佐北区認知症地域支援 支援員　野々原 祐香様 ◦第五回合同勉強会（令和3年11月8日） 「生き活き法律教室“相続、遺言、成年後見制度”」 講師　司法書士上中事務所 司法書士　上中 元貴様 ◦事業報告	5	
123号	7月1日 （2022年続き）	○令和4年度（第46回）総会 新型コロナウイルス感染拡大のため　書面審査 ◦会長あいさつ 「福祉事業に「共助」の支援　若い人の力をⅠ」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦「社会福祉ってそもそも何ですか？」 安佐北区社協 主事　加納 裕輝様	4	
124号	10月31日	◦会長あいさつ 「福祉事業に“共助”の支援　若い人の力をⅡ」 ◦「事業部はこんな活動をしています」 事業部 部長　小坂 昭義氏 ◦「ご近所トラブルから福祉のまちづくりを考える」 安佐北区社協 主事　加納 裕輝様	4	62 （白寿5名 米寿57名）
125号	令和5年3月31日 （2023年）	◦会長あいさつ「地域のみんなで見守り活動」 ◦第六回合同勉強会「認知症の人への接し方」 講師　広島市認知症地域支援 推進員　野々原 裕香様 ◦亀山BASEスタートアップ呼びかけの会開催 ◦事業報告	2	
126号	7月25日	○令和5年度（第47回）総会 ◦会長あいさつ 「地域社協の新たな取り組み【広島LMO(エルモ)】 組織の導入！」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場　（亀山小学校児童作文発表2名）		
127号	11月25日	◦会長あいさつ 「各地区の“ふれあいいきいきサロン”活動に 参加してみませんか」 ◦ふたりくらしの集い	4	62 （白寿7名 米寿55名）

No.	発行年月日	主　　な　　記　　事	ご寄付(件)	米･長寿祝(名)
127号 (続き)	11月25日	◦会長あいさつ 「各地区の“ふれあいいきいきサロン”活動に 参加してみませんか」 ◦ふたりくらしの集い　◦献血実施　採血者　66名 ◦第七回合同勉強会「施設について考えてみましょう」 講師　安佐北区地域包括支援センター 社会福祉士　久保 正樹様	4	62 (白寿7名 米寿55名)
128号	令和6年3月31日 (2024年)	◦4年ぶりのふれあい福祉会議 「医療は街づくり 新たな視点で可部の明るい未来を創る」 講師　安佐医師会病院　病院長　土手 慶五様 ◦事業報告	2	
129号	7月1日	○令和6年度(第48回)総会5月26日(4年ぶりの総会開催) ◦会長あいさつ　◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場　(亀山小学校児童作文発表2名)		
130号	11月22日	◦大畠会長あいさつ 「広報紙130号発行にあたって“今、地域は”」 ◦かめやまエルモ事務局　新富 友美様 「自分たちのまちをみんなで守りたい！」 ◦広報部部長　平尾 和宏氏 「増えているもの減っているもの」 ◦ふたりくらしの集い　◦献血実施　採血者　70名	1	76 (白寿7名 米寿69名)
131号	令和7年7月1日 (2025年)	○令和7年度（第49回）総会　5月25日 ◦会長あいさつ 「地域の“きずな”を大切に 福祉のまち亀山のまちづくりを目指す」 ◦事業報告・決算・予算・事業計画 ◦かめやま広場　(亀山小学校児童作文発表2名) ◦「社協かめやま事務所」を亀山3丁目に移転	2	
132号	12月1日	◦大畠正彦会長　全国社会福祉協議会会長表彰受賞 ◦亀山地域での敬老事業紹介 ◦ふたりくらしの集い　◦献血実施　採血者　69名	1	75 (白寿3名 米寿72名)
133号	令和8年3月31日 (2026年)	◦令和7年度　ふれあい福祉会議 「広報紙で見る亀山地区」 講師　安佐北区社会福祉協議会 事務局長　坂本 泉様 「かめやまエルモを通じて医師会病院を利用しよう」 講師　安佐医師会病院 病院長　土手 慶五様 ◦第9回合同勉強会 「地域包括活用術！　～困った時は包括に相談～」 講師　亀山地域包括支援センター 社会福祉士　久保 正樹様 ◦事業報告 ◦亀山地区社協創始50年記念事業準備に着手	3	